

提案します！

「考える力」を育む授業づくり

No.73号でもお伝えしたように、今年度は5教科（小学校国語科・小学校算数科・小学校理科・中学校数学科・中学校外国語科）において、国立教育政策研究所教科調査官及び大学教授等をアドバイザーにお迎えし、教科研究員（管内15名の先生方に委嘱）と置賜教育事務所指導主事による教科研究プロジェクトチームを組織し、協働して研究を進めてきました

その研究成果を「**考える力**」を育む授業づくりのポイント」として提案させていただきます。「担任力」を生かしたこれからの授業改善の参考にしていただければと思います。

小学校国語

言葉に感情を乗せて伝え合う授業の創造を！

- 子どもの実態と教材の特質を踏まえ、つきたい力にふさわしい言語活動を設定する。
- 子どもの目的意識を持続させながら、言語活動を通して課題を解決できるような単元構成を工夫する。
- お互いの思いやよさを受け止め合いながら、読みを深めたり表現を工夫したりする場を設ける。

小学校算数

学び合いを通して、一人一人が
よりよく問題を解決する授業を！

- 授業のねらいを達成した具体的な子どもの姿を明確にする。
- 「一人一人の考えが深まる」様々な考え方ができるようになることをねらった学び合いの場を設定する。
- ねらいとの整合性がとれた適切な適用問題を設定し、自力で解決する場を設ける。

小学校理科

体験と言語が織りなす自分事の問題解決を！

- 問題解決の過程を踏まえた授業を展開する際は、子ども自らが問題を設定できるような体験を工夫するとともに、「わかった・できた・役立った」と実感できる学習活動を積み上げる。
- データや科学的根拠に基づき、科学的な概念や用語を使って予測したり考察したりする学習活動を大切にする。
- 観察・実験とその前後の学習活動をねらいや目標に沿って精選し、子どもが思考・表現する時間を確保する。

中学校数学

数学的活動のよさ、楽しさを実感し、
数学の魅力にどっぷりつかる授業の創造を！

- 考えさせたいことを明確にし、解決する必然性を感じる課題設定を工夫する。
- 課題解決へ向けた生徒の発想・気づきを引き出す発問を吟味する。
- 生徒の思考をつなぎ、広げ、全体で共有し、深めるための教師の働きかけを工夫する。
- 数学的表現を用いて考えを練り合い、共に学び高め合う主体的な学習を推進する。

中学校外国語

コミュニケーションを中核にした
インタラクティブな授業の創造を！

- 英語で話したくなるような必要性・必然性のある言語活動を位置づける。
- 双方向の交流を大切にしたコミュニケーションの場を設定する。
- CAN-DOリスト等により、学習到達目標を明確にし、振り返りや自己評価の方法を工夫する。

今年度の取組の成果を「実践記録集」として
まとめ、置賜教育事務所 HP ↓
【<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/706003/>】
にアップします。

教科研究員の先生方の実践（指導案等）も掲載
しますので、ぜひご覧ください！

次年度に向けて

置賜教育事務所では、平成27年度も《信頼される学校づくりを進め、知徳体が調和した「いのち輝く子ども」を育成する》ため、「考える力を育む授業づくり」と「自尊感情を育む集団づくり」をポイントとした『おきたまの教育』を発行します。各学校の活動に合わせて、有効にご活用ください。

27年度版は、改めて4月にお届けします。

おきたまの教育

平成27年度置賜教育事務所

学校教育指導の重点

● 知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成 ●

元気で、信頼される学校をつくる

子どもと向き合う

- 重点化、焦点化した学校経営
- 課題の共有化と組織としての対応

子どもの学びをつなぐ

- 幼保小及び小中間の連携
- 家庭、地域との協働

「いのち」を見つめる

- 継続的な「生命尊重」の教育
- 読書活動の推進

教職員の力をつける

- 共に学び合う校内研修の充実
- 体罰根絶と「一校一改善」の実践
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応

授業を中核に、生きぬく力をはぐくむ

『考える力をはぐくむ授業づくり』

- 1 自ら学び、考える授業の創造
 - 興味・関心を高める指導の工夫
 - 思考力・判断力・表現力等の育成につながる言語活動の充実
 - 「まとめ」や「振り返り」の明確な位置付け
- 2 「担任力」を生かした授業実践
 - 確かな教材分析と子ども理解に基づいた授業計画
 - 学びの見取りに基づいた指導・支援
- 3 日常授業の充実につなぐ校内研究
 - 学校課題の解決に向けた改善策の共有
 - 研究の日常化を図る手立ての工夫

『自尊感情をはぐくむ集団づくり』

- 1 「自己指導能力」をはぐくむ生徒指導の推進
 - 生徒指導の機能を生かした授業の実践
 - 主体性をはぐくむ児童会・生徒会活動の工夫
 - 地域とともにつくる体験活動の充実
- 2 いじめの根絶に向けた取組
 - 児童生徒にとつての魅力ある学級づくりの推進（絆づくり、居場所づくり）
 - 「学校いじめ防止基本方針」に基づく組織的取組
- 3 道徳教育の充実
 - 道徳実践力の育成をめざした教育活動の充実と改善
 - 道徳的価値の自覚や生き方を深める授業づくり

『健康でたくましい体づくり』

- 1 発達段階を考慮した健康・安全教育の推進
 - 心身の健康を保持増進するための「実践力」につなぐ取組の充実
 - 「危険予測・危険回避能力」を育てる活動の工夫改善
 - 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の形成（生活リズム・食習慣）
- 2 健やかな体をはぐくむ学校体育の充実
 - 運動の「楽しさや喜び」を実感できる授業の推進
 - 学校・地域の特色を生かした体力づくりの工夫

〈特別支援教育〉

幼小中における特別支援教育の充実を図る

- 1 校内体制の充実
 - 学校間及び家庭や関係機関との情報の引継と連携
 - 早期からの継続的・計画的な就学支援及び進路指導の充実
- 2 子どもの特性に応じた指導・支援の充実
 - 「個別的教育支援計画及び指導計画」を活用した指導・支援
 - 障がいの特性に応じた適切な教育課程の編成
- 3 通常学級での指導の充実
 - ユニバーサルデザインの考えを生かした学級づくり・授業づくり
 - インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び共同学習

〈幼稚園教育〉

環境構成の充実にもつめ「生きる力」の基礎を培う

- 1 自主性と思いやりをはぐくむ指導の充実
 - 幼児の主体性を大切にた指導と援助
 - 計画的な環境構成の工夫
- 2 開かれた幼稚園経営
 - 学校評価を生かした教育課程の編成
 - 家庭・地域への積極的な情報提供
- 3 育ちと学びをつなぐ小学校との連携
 - 滑らかな幼保小連携・接続を図る体制づくり
 - 「幼保小連携スタートプログラム」の活用